

推薦調書（実装部門）

表彰区分	「市」（指定都市・中核市・施行時特例市等を除く）	推薦都道府県	宮城県
地方公共団体名	石巻市		
取組名称	コミュニティを核とした持続可能な地域社会の構築		
連携自治体、企業、団体等	豊田通商株式会社、株式会社講談社、一般社団法人日本カーシェアリング協会、市内自動車整備事業者		
デジタルを活用した取組の概要（デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合の分野） 交通
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <p>○ 地域交通情報アプリケーション（ローカル版 MaaS）を活用して公共交通と地域カーシェアリングのマッチング・乗継支援を行い、グリーンスローモビリティを活用することで、地域住民の新たな移動手段を構築し、コミュニケーションロボットとの連携により、高齢者の孤立防止・健康増進及び外出機会の創出を図る取組。</p> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>○ 東日本大震災により甚大な被害を受けた本市が、未曾有の大震災からの復興とその後の更なる飛躍を果たすために、震災に起因する人口減少・少子高齢化の加速化や復興公営住宅における高齢独居世帯の増加、半島沿岸部の移動手段等といった課題解決に向けて早急に取り組んでいく必要があるため。</p> <p>【解決する課題の具体的内容】</p> <p>（1）地域交通情報アプリケーション（ローカル版 MaaS）の構築 既存の公共交通と住民主体の共助のモビリティであるコミュニティカーシェアリングを繋ぐ、IoT/ICT 技術を活用した地域交通情報アプリケーション（ローカル版 MaaS）を構築し、移動手段に係る課題解決を図ることで、住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちづくりを推進する。</p> <p>（2）グリーンスローモビリティの活用 ハイブリッドリユース事業によって生産された電気自動車を活用し、グリーンスローモビリティでのカーシェアリングを行うことにより、高齢者等の外出機会の創出による孤立防止及びコミュニティの活性化を図る。</p> <p>（3）ハイブリッドリユース事業 使われなくなったハイブリッド自動車を域内外から回収し、市内の自動車整備事業者等によって電気自動車等としてリユースする。リユースにあたっては、ステークホルダーと連携の下、市内事業者が電気自動車等として再製品化を行うことにより、市内における新産業の創出及び地域経済の活性化を図る。 ハイブリッドリユース事業によって生産された電気自動車は、グリーンスローモビリティとして、新市街地や半島沿岸部における高齢者等の移動手段として活用する。</p>		

	<p>(4) コミュニケーションロボットによる高齢者支援</p> <p>スマートフォン等の代わりに、会話形式で相手の状況に応じた支援が可能なコミュニケーションロボットを利用者の自宅等へ設置し、地域交通情報アプリケーション（ローカル版 MaaS）の利用を支援することで、高齢者のデジタルデバイドの解消を図る。</p> <p>また、コミュニケーションロボットを通じて高齢者に地域行事への参加を促す等により外出機会を創出する。</p>
<p>デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）</p>	<p>【取組のアウトプット】</p> <p>(1) グリーンスローモビリティ導入台数 令和2年：1台 令和3年度：0台 令和4年度：6台（見込）</p> <p>(2) 地域交通情報アプリケーションの構築状況 令和2年度：活用方法検討 令和3年度：活用内容検討 令和4年度：テスト導入（見込）</p> <p>【取組のアウトカム】</p> <p>(1) グリーンスローモビリティ利用者数 令和2年度：12人 令和3年度：152人 令和4年度：3,000人（見込）</p>
<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>本取組では、地域交通情報アプリケーション（ローカル版 MaaS）を活用した住民主体のカーシェアリングの運用を通して、住民共助の推進が図られるとともに、新たな移動手段が確保され外出しやすい環境ができることにより、消費の拡大が図られる。</p> <p>また、コミュニケーションロボットの活用により、高齢者のデジタルデバイドが解消され、地域交通情報アプリケーション（ローカル版 MaaS）の利用が促進される。さらに、新市街地の復興公営住宅に住む高齢者の相談支援の充実及び外出機会の創出により、高齢者の孤立防止やコミュニティ活動の活性化が図られることで、元気な高齢者が増え、医療費の抑制及び消費の拡大が図られる。</p> <p>高齢者等の外出時の移動手段として、グリーンスローモビリティを活用するとともに、地域交通情報アプリケーション（ローカル版 MaaS）を活用することにより、交通利便性の向上とともに環境負荷の低減が図られる。ハイブリッドリユース事業によって生産された電気自動車を活用することにより、環境に配慮した新産業の活性化が図られる。</p> <p>本事業は、地域交通情報アプリケーション（ローカル版 MaaS）、コミュニケーションロボット、グリーンスローモビリティが相互に作用し合うことにより各取組の効果を相乗的に高め、全体の最適化が図られている。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>令和4年6月～ コミュニケーションロボットを高齢者宅へ配布予定。 グリーンスローモビリティの導入予定地区において、地域住民と使用のルール等に関する打合せを実施予定。</p> <p>令和4年7月～ グリーンスローモビリティを導入予定。（その後、順次導入）</p>

「コミュニティを核とした持続可能な地域社会の構築」概要図

公共交通と地域カーシェアリングを結び付ける地域交通情報アプリケーション（ローカル版MaaS）を活用し、グリーンスローモビリティを地域の支え合いによる新たな移動手段として確立する。また、未来技術を搭載したAIロボットを高齢者と地域を繋ぐ新たなコミュニケーションツールとし、高齢者の孤立防止等を図る。

<取組課題>
新産業の創出等による
地域に雇用を生み稼ぐ仕組みの構築



経済

- 新産業創出
- 雇用創出
- 消費拡大



ハイブリッドリースのイメージ



太陽光電池搭載の非接触給電ステーション及びグリーンスローモビリティのイメージ

三側面をつなぐ統合的取組
グリーンスローモビリティを活用した
協働による新たな移動手段の構築事業

- ハイブリッドリース事業の展開**
 - ハイブリッド自動車の基幹ユニットをリースする事業を展開し、地域の新たな産業として定着化
- グリーンスローモビリティの活用**
 - ハイブリッドリース事業で生産された電気自動車による100%自然エネルギーのグリーンスローモビリティの活用
- 地域交通情報アプリケーションの構築**
 - 公共交通と地域カーシェアリングのマッチング・乗継支援
- コミュニケーションロボットの活用**
 - AIロボットを通じた高齢者の外出機会の創出・孤立防止

「おたがいさま」の声があふれる
支え合いのまちづくり

- 地域経済の活性化
- 環境にやさしい新たな移動手段の構築
- 高齢者の孤立防止・外出機会の創出

環境



<取組課題>
環境にやさしい低炭素社会の構築

- グリーンエネルギー
- 低炭素社会
- 人材育成

- 100%自然エネルギーによるグリーンスローモビリティの活用
- 環境に配慮した人材の育成

<取組課題>
東日本大震災に起因した半島沿岸部及び
新市街地における高齢者の孤立防止と
新たな移動手段の構築

社会



- 移動手段の構築
- 孤立防止
- 多世代交流
- デジタルデバйд解消



地域交通情報アプリケーションのイメージ



ロボットによる高齢者支援のイメージ



学生によるロボット製作のイメージ